

【取組分野・活動実績シート】

1. 基本情報

大学名・学部名・学科名	慶應義塾大学総合政策学部	
研究室 代表者名	飯盛義徳	
研究室代表者の専門分野	プラットフォームデザイン、地域づくり、ファミリービジネスマネジメント	
研究室内の学生数	40名	
活動可能エリア	全国	
関連ホームページ	名称	URL
	慶應義塾大学飯盛義徳研究室ホームページ	http://isagai.sfc.keio.ac.jp



2. 地域課題解決に向けた取組分野

● 観光	（農業や史跡、文化などの地域資源をいかした地域の賑わいを創出するプロジェクトを各地で展開している。）
● 移住・定住・関係人口	（地元の高校生を対象とした地域学習（探究学習）など関係人口づくりに資するプロジェクトを各地で推進している。）
農林水産業	（ ）
起業支援	（ ）
● まちなか再生	（リノベーションされた古民家を利活用して、地域の人々が集い交流できる仕組みづくりを実践している。）
集落再生	（ ）
環境	（ ）
その他	（ ）

3. 活動実績

【活動実績①】

(1)活動地：三重県尾鷲市（2012年～2014年）

(2)活動内容：
学生たちとのワークショップによって、地域の方々が取り組んでみたい課題解決につながるテーマを設定し、その活動を一緒に推進することで地域の活性化を目指した。グループワークでは活発な意見交換がなされ、地域の魅力を見つめ直すきっかけにつながった。

(3)活動による成果：
地域の方々主導による地域振興につながる活動が数々立ち上がり、賑やかさを創出している。

【活動実績②】

(1)活動地：埼玉県白岡市（2017年～2019年）

(2)活動内容：
地域の方々の交流や意見交換を通して、地域に対する愛着を高め、地域の資源や魅力を発掘・発信し、白岡市の地域の問題解決につながるような活動を生み出す仕組みを構築することを目的として活動した。具体的には、地域の方々が集まる場を創り出し、多世代が交流できる複数のプロジェクトを立ち上げ、その相互作用によって地域の方々が主体となって、何らかの活動が生み出されることを目指した。

(3)活動による成果：
地域の方々主導による多世代交流の居場所が設置され、そこを拠点として地域の方々の活発な交流が繰り返されている。

【活動実績③】

(1)活動地：東京都品川区大井町（2018年～）

(2)活動内容：
複数の教員、地域の方々と一緒に、慶應義塾大学SFC研究所みらいのまちをつくる・ラボを立ち上げて数々の研究プロジェクトを推進している。その中の飯盛義徳研究室の一つのプロジェクトでは、地域の資源や歴史を地図上に起こした、まち巡りDiCEというボードゲームを開発した。地理をはじめ、地域の歴史や文化を楽しみながら学ぶことができ、多世代交流のツールとして各地に広がっている。

(3)活動による成果：
地元を楽しみながら学べるツールとして、子どもたちをはじめ、幅広い年代の方々に活用をしてもらっている。

4. 研究室卒業生の地方での活動状況

各地の研究プロジェクトに参加した結果、地域の資源や人に魅せられて、プロジェクト終了後に移住して引き続き活動を継続する学生が複数あらわれている。

5. 希望する活動内容